



金沢国際交流ラウンジニュース

発行 金沢国際交流ラウンジ
〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1 金沢区総合庁舎 2階
TEL:045-786-0531,0534 / FAX:045-786-0532
Email: klounge@shore.ocn.ne.jp
URL <http://www.kanazawalounge.org/>

No. 52

2019年(令和元年)7月30日発行

横浜市大留学生歓迎会参加報告

5月16日(木)18時から横浜市大シーガルホールで留学生歓迎会が開催されました。参加者は100名以上でそのうち留学生は30数名に上り例年に比べ参加者は大勢で賑やかな歓迎会となりました。当ラウンジからも8名が参加しました。留学生の国は中国、台湾、東南アジア、ヨーロッパ、アフリカに及び国際色豊かな雰囲気の中で友好を深めました。横浜市立大学で勉強したことが、自国で実を結ぶとともに日本と自国との友好が益々盛んになることを願いながら集合写真を撮って散会となりました。



かもめ教室「おやの会」

「おやの会」の目的の一つに、外国人の保護者が困っていることや知りたいことへの支援があります。この目的に沿って、今回は「高校進学について」をテーマに取り上げ、講師に島本篤エルネスト先生(金沢総合高校教諭)をお招きして開催いたしました。開催日は6月15日(土)、場所はカナカツ(アイワパークビル3階)です。当日は雨天にもかかわらず、会場には外国人の保護者や子どもたちが19人集まり、部員等も含めると、総勢で42名に達しました。講師の島本先生のお話はとてもわかりやすく、参加した皆様に好評でした。



インドネシアの家庭料理教室のご案内

日時:2019年 9月11日(水) 10:00-14:00

場所:富岡並木地区センター 2階 料理室 横浜市金沢区富岡東 4-13-2

人数:20人(先着順) 参加費:800円(申し込み時に支払い)

申込方法:8月19日(月)から金沢国際交流ラウンジに参加費をそえて申し込む



ラウンジフェスティバルのお知らせ

今年もラウンジフェスティバルを開催します。少し先ですが、期待をしてお待ちください。

日程:2019年 11月30日(土) 時間:12:30-16:30

場所:金沢区役所 2階 金沢公会堂 多目的室他

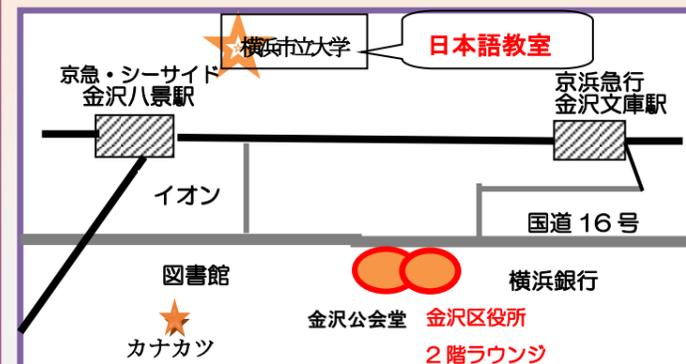
★ラウンジ窓口のご案内★

《開館時間》月・火・水・木・金・土 9:00~17:00

日、祝日、年末年始は休館

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀 2-9-1

金沢区役所 2階



☎045-786-0531・786-0534 Fax 045-786-0532

➤多言語で相談に応じます。

一月曜日~土曜日 9:00-17:00 英語

Monday thru Saturday, 9:00-17:00: English available

一木曜日 13:00~17:00 スペイン語

Los jueves por la tarde(13:00~17:00) en Español

一水曜日 9:00~13:00 中国語

星期三 9:00~13:00 中文

➤【日本語教室】

場所:横浜市立大学 八景キャンパス 交流室 1,2

日曜日 火曜日 木曜日 土曜日 10:00-11:30

➤【かもめ教室】

土曜日 9:30-12:00 カナカツ

火曜日 16:00-18:45 オフィスかなざわ

木曜日 16:00-18:45 カナカツ

金曜日 15:00-16:30 並木北コミュニティハウス

外国人の方の生活に役立つ情報

金沢国際交流ラウンジでは地域に住んでいる外国人に役立つ生活情報を用意しています。その中で今回は区民生活マップとおくすり手帳、それからラウンジ窓口での言語相談日を取り上げご紹介いたします。

■区民生活マップ

表面が英語と日本語で書いた金沢区の大型マップであり、裏面の生活ガイドは英語、中国語、ハングル、スペイン語、やさしい日本語の5言語で書かれています。公的サービスとしては区役所、福祉保健センター、郵便局、税務署、図書館、県庁などの連絡先が載っています。電気、ガス、水道、主な病院や、外国人からの相談については中国語、スペイン語、英語での対応も行っています。

この生活マップはラウンジでは無料でさしあげています。0円

■わたしのおくすり手帳

薬局や病院でもらった薬の名前のシールを貼る手帳です。

病気や事故とか災害の時にこの手帳は役に立ちます。

ラウンジでは無料(0円)でさしあげています。「日本語、英語、ハングル語、中国語で書いてあります」(多言語版おくすり手帳普及プロジェクト)

■窓口で相談できる日

ラウンジに来られた人や電話での対応には外国語としては、英語・中国語・スペイン語の3言語で対応しています。(曜日によって対応できない言語もあります)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
中国語 9:00~13:00			○			
スペイン語 13:00~17:00				○		
英語 9:00~17:00	○	○	○	○	○	○
日本語 9:00~17:00	○	○	○	○	○	○

金沢国際交流ラウンジは、金沢区役所の委託を受け、金沢国際交流ラウンジボランティア会が運営しています。

だれもが安心して豊かに暮らせる地域をめざして

沖縄にルーツを持つ子どもたちとともに

5月27日、鶴見区で長く IAPE（イアペ：外国人児童生徒保護者交流会）で活動している沼尾実氏をお呼びして講演会を持ちました。鶴見区は外国人が多い町で多国籍の飲食店や雑貨店が多く、その中でも沖縄に通じる店や人の集まりがあります。それは沖縄から海外に移住し、その子孫が横浜に住んでいるからです。

その子どもたちは、日本で生活していますが、時に「自分は何人か」と考えています。講師は教師だったころから彼らを集め「沖縄へルーツを探る旅」を続けています。

その映像を見て会場から「旅を通して彼らがつながりを実感し、自信を持ち生活できること、支援団体の皆も彼らから力をもらい活動ができていたことを感じた」との声がありました。地域が相互に支え合うことを知りました。



外国人のための散歩ツアー「称名寺へ行こう」

6月2日(日)の午後、交流企画グループ主催の称名寺散歩ツアーが開催されました。数日來の暑さも一服し当日は曇り空で過ごしやすい天候でした。参加者総数は43名、うち外国人は25名、区役所からも2名の参加がありました。横濱金澤シティガイド協会の方8名のご協力で4グループに分かれて行動しました。金沢文庫駅で集合し称名寺までの往復を歩きました。称名寺では山門・仁王門・浄土庭園・鐘楼・釈迦堂・本堂と巡りシティガイド協会の方の丁寧な説明に耳を傾けました。最後に全員で記念写真「はい、チーズ」。



地震対応について

地震直後の数日間は個人が自分で対応しなければいけません。日頃の準備とか地震の発生から情報の入手や被害にあった場合の初期対応について述べます。

■日頃の準備

- ①ずっと置いておくもの 給水袋・簡易トイレ・乾電池・ラジオ・懐中電灯・軍手など
- ②普段から使ったり食べたりするもの 食料品（調理がいないもの）水3日分（一人一日3L）・薬・ペーパー・ビニール袋・ウエットティッシュ・ライターなど。
- ③防災訓練に参加
- ④家具の転倒防止の固定 ガラスの飛散防止（防止フィルムを貼る）
- ⑤多言語防災リーフレット（ラウンジで無料（0円）でさしあげています）
- ⑥避難場所の確認（横浜市のホームページ、区民生活マップ）

■地震への対応

- ・自宅にいたら・・・大きな家具やガラスなどから離れる テーブルの下などに隠れる。
- ・外にいたら・・・ガラスの破片などが落ちてくるので頭を守り建物から離れる。
- ・大きなビルにいたら・・・外へ逃げようとせず揺れがおさまるのを待つ ガラス窓やキャビネットから離れる。
- ・エレベーターに乗っていたら・・・全ての階のボタンを押し止った階で降りる 閉じ込められたら非常呼び出しボタンやインターホンで連絡し救助を待つ。
- ・電車の時は・・・頭を守り絶対に電車から降りない 立っているときはつり革や手すりにしっかりつかまる。
- ・スーパーやコンビニにいたら・・・棚から離れて頭を守る すぐ出口に移動できない場合はレジカウンターの下にもぐり揺れがおさまってから避難する。

※日本気象協会の「得する！防災」も参考にした。

■津波への対応

- ・揺れを感じたら津波が来る可能性があることを覚えておく。
- ・遠くより高いところに逃げる。
- ・車では逃げない。
- ・川からも津波がくる
- ・一度避難したら戻らない。

※日本気象協会の「得する！防災」も参考にした。

■情報の入手方法

- ・ラジオ テレビ 友達 町内会 近所など

■家屋に住めなくなった場合の対応

- ・地域防災拠点（町内会等が前もって決めてある小中学校）や広域避難場所（区が決めてある公園、大学、お寺など）に避難をする。 区民生活マップにのっている。

※地域防災拠点：地震で家に住むことができないときに生活するところずっといることはできない

※広域避難場所：地震での大火事から命を守るために逃げるところ

■家屋がこわれたり、火災になったり、ケガをした場合の連絡先

- ・町内会 警察署 消防署（救急車も含む）病院